

視察先団体	NPO法人大山千枚田保存会
視察地住所	〒296-0232 千葉県鴨川市平塚540 Tel. 0470-99-9050
視察日	平成29年11月15日(水)
視察者・調査員	中野農泊推進協議会 齊藤 滋
視察地概要	<p>嶺岡の山並みのふもと、面積約4ヘクタールの急傾斜地に、階段のように連なる大小375枚の棚田。千葉県指定名勝の「鴨川大山千枚田」と、周辺の里山と集落の姿は、自然と人々の営みが育んできた、貴重な文化的景観の大山千枚田は、鴨川の中山間に位置し房総半島のほぼ真ん中にあり、東京から一番近い棚田として知られている。平野の田んぼと違って耕地整理が遅れたことが、この美しい棚田を現代に残すことになった。</p> <p>また大山千枚田は日本で唯一雨水のみで耕作を行っている天水田である。そのような場所では動植物も貴重なものが多く生息し、生物多様性の宝庫でもある。さらに棚田は、多面的機能を持っていて、これを守ることが洪水などの災害を防止したり、貴重な生態系や環境の保全になる。</p> <p>里山の美しい景観は、自然と共生して暮らしてきたそこに住む人々の日々の生活における取り組みから維持されてきた。棚田を渡る風を、空気を千枚田で感じ、雄大な自然のなかで共生する大切さを大山千枚田は教えてくれる。体験メニューは、棚田オーナー制度、棚田トラスト制度、大豆畑トラスト制度、酒づくりオーナー制度、綿藍トラスト制度、家づくり体験塾、その他自然体験活動。</p> <p>■枚数:375枚 耕作面積:3.2ha ■耕作率:99% ■標高範囲:200m ■平均勾配:1/5 法面構造:土坡 ■開発起源:江戸時代 ■選定:千葉県名勝、日本の棚田百選 ■オーナー制:有 駐車場:有 ■公共トイレ:有 ■JR鴨川駅から路線バス30分「釜沼」バス停から歩行20分</p> <p>※ヒアリング内容は、VTR収録。視聴希望の場合は中野方農泊推進協議会へ</p>
視察・ヒアリング項目	<ol style="list-style-type: none"> 1.体験プログラム催事の運営 指導者 指導者育成 地元連携 2.体験プログラム等催事の参加者募集法 3.トラストの運営方法 トラスト設立動機 指導者 畑地圃場管理システム 4.ホームページの運営管理 地域の取組との係わり 多言語対応 「あんご通信」との係わり 5.棚田カフェ「ごんべい」の運営 経営形態 メニュー開発 調理人雇用 6.家づくり塾の運営 設立動機 活動経緯 実績 カリキュラム 7.若いスタッフノ雇用 育成プログラム <p>※石田理事長から学んだポイントは「棚田保全が地域全体の地域振興の芯、連携の絆であること」</p>
取材対象者	 <p>NPO法人大山千枚田保存会 鴨川市地域資源総合管理施設 棚田倶楽部 理事長 石田 三示氏 家業の農業に従事し、千葉県NPO活動推進委員、長狭中学校PTA会長、鴨川農協理事などを歴任。NPO法人大山千枚田保存会・理事長、農事組合法人鴨川自然王国・代表理事などを務める。 2009年、第45回衆議院議員総選挙に民主党公認で出馬し比例南関東ブロック37位で当選</p> <p>事務局長 浅田 大輔氏</p>